

vol.
033

障害社通信

2024年
5月号

ゴールデンウィークも終わり、じわじわと上がっていく気温を吹き抜ける風が下げてるような気がしますね。5月は皐月（さつき）とも言い、日本では田植えの季節です。近年では、五月病が社会問題になっていたりしますが、この時期の不安定なお天気が心も不安定にするのかもしれませんが。みなさんはいかがお過ごしでしょうか？

SCMアンケートの結果報告

当社では重度訪問介護サービスを提供するにあたり「SCM」という考え方があります。

SCMとは、当社が作った造語「Self Care Management（セルフケアマネジメント）」の略で、その意味は「利用者が自らの持てる力を発揮し、自己選択・自己決定を行うことであり、個人差はあるが出来る限り自身で身の回りの状況を管理調整すること」としております。具体的な例として、利用者がヘルパーのシフト管理をする、利用者がヘルパーの求人採用に関わる、ヘルパーの採用面接を行う、等が挙げられます。

今回、当社がサービスを提供している利用者にご協力いただき、SCMに関するアンケートを実施いたしました。（47名の当社重度訪問介護サービス利用者から回答いただきました。）

まず「サービスに対する満足度」という設問には回答者の95%以上が満足しているという結果になり、その理由として「自分の生活をマネジメントできるから満足」、「シフトの調整が自分でできるから満足」等の意見をいただきました。その反面、不満な点として「ヘルパー育成を自ら行わなくてはいけない」「困ったときにフォローを受けられていない」という声も挙がりました。



また「SCMという考え方を理解しているか」という問いには回答者の約3/4が理解できているという結果となりましたが、その反面「知らない」「知っているけど理解は出来ていない」という声もまだまだ挙がる結果となりました。

今回、貴重なご意見を沢山頂きました。そこから強く感じたことは、SCMについて利用者に理解を求めるのであれば、会社側としてもSCMを行いやすい環境をしっかりと整えていく必要があるということです。今後も会社として出来ることを考え、利用者の皆様と共に共生社会の実現に向かって進んでいきたいと思っております。

福祉用具事業所IRSからのお知らせ

当社が運営する福祉用具事業所IRS（アイアールエス）では車椅子の販売のほか修理・メンテナンスにも対応しております。なおIRSで購入していただいた車椅子だけでなく、他社から購入した車椅子でも対応可能です。（電動・手動を問わず対応可能です。）

なお、定期的なメンテナンスは大変おススメです。異音やガタつき等の確認や車体の状態確認を行うことにより、不具合リスクを事前に回避することができます。またメンテナンスで把握した車体の状況をお客様と共有して、不具合が見つかった場合には出来るだけ迅速に対応させていただきます。

IRSでは、スタッフがご自宅などご指定の場所にお伺いのうえ対応することも可能ですので、メンテナンス等も含め車椅子関係のお困りごとがございましたらお気軽にお声がけ下さい！

また、IRSでは介護ベットやマットレス、移乗リフト、入浴補助用品、スロープ等の日常生活用具も取扱しております。この他にもストーマ用品、リフティピーヴォ（コンパクトな移乗用福祉用具です。この商大変おススメです。）も取り扱いがございましたので、車椅子の案件だけでなく福祉用具でお困りの際にもお気軽にお声がけ下さい！

IRSでは「お待ちしております」を合言葉に、皆様のお困りごとに対応してまいります！！



IRSのHP
(障害社HP内)

【福祉用具事業所IRS【担当：藤重（フジシゲ） 齊藤（サイトウ）】
TEL：042-851-4579／E-MAIL：irs@shogaisha.co.jp



車のメンテナンスについて（夏を迎える前に）

突然ですが、ロードサービスにお世話になった経験がある方はいらっしゃいますか？
これから暑い季節を迎えるにあたり、車両のメンテナンスについてお話させていただきます。
私（記事作成していただいたスタッフ）が自動車整備工場で働いていた頃、整備不良により
車両が燃えてしまったというお客様がいました。点検のご案内を送っていたのにも関わら
ず、忙しくて入庫できないという理由で全く来店されなかったのです。事故による車両火災だ
けでなく、整備不良による車両火災もあるのです。



皆さんは、どのくらいのペースで車両のメンテナンスをしていますか？ディーラーや販売店から点検の案内があれば、必ず入庫してほしいと思っています。点検の案内が無い場合は、1年に1回はメンテナンスをしてください。もちろん、車検がある場合は必ず受けてください。

※自家用車の定期点検(法定点検)は、12ヶ月点検と24ヶ月点検(車検)があり、法律で実施することが義務付けられています。10年以上経過した車両や10万キロを超えているような車両は、より一層のメンテナンスをして頂きたい次第です。そして、信頼できるお店を見つけてください！



ここ最近の夏は、非常に暑い日が増えています。それに伴い、故障車も増加しています。通勤途中に故障してしまったり・・・日頃からのメンテナンスで予防できることもあります。仕事をするために使っている（通勤も含め）ということは、メンテナンスも仕事に関わる一部だと考えることもできます。未然にトラブルを防ぐことが大切なのです。心も、身体も、車両も、しっかりとメンテナンスして、安全第一で運転していきましょう！

あなたの趣味を教えてください！

広報宣伝課の草野です。自分の趣味はゲームです。
健常者の頃からかなりのゲーム好きだった自分は、障がい者になってからもゲームがやりたくて堪らず、なんとかやることが出来ないかとゲーム機のコントローラーと格闘したこともありました。ですが、指の利かない自分の手ではコントローラーを上手く操ることが出来ず、ゲームをやることを半ば諦めていました。
その後、知り合いの障がい者の方に「アーケードコントローラー」と言うものがあると教えていただきました。試しに使ってみると、操作が複雑なゲームでなければ遊ぶことは可能でした。それからは何作のゲームを楽しんだか数えきれません。笑

最近では、eスポーツが盛んになりつつあり、ゲームやメタバースなどのオンラインで人と繋がることも出来るようになりました。障がい者でもゲームが楽しめるようにコントローラーを開発したり改造してくれる企業も出てきたようです。

誰もが好きなことを楽しめる世界になれば素敵ですね♪もし、ご興味があるようでしたら調べてみてください。



重度肢体不自由者のリアルな生活

横浜事業所の三井です。

先日サファリツアーをVR空間で体験するイベントに参加してきました。

このイベントは普段様々な制約があり外出が困難な方でもサファリツアーを体験できるというもので、元々は、コロナ禍で海外の渡航自体が難しい時期に何か出来る事が無いかと検討されたもののようなのですが、その後福祉分野へも応用されています。

今回参加して思った事は、やはり障害者や高齢者といった身体にハンディがある人とVRの相性は良いということです。諦めていた旅行等の外出機会に代わって、自分の目や自分の耳で感じて体験できる事はとても貴重な機会になるはずです。最新の技術が福祉に生かされることで大きな可能性を感じられた1日でした。皆さんも機会があれば、ぜひVRを一度体験してみるのはいかがでしょうか？



当事者スタッフのリアルな生活をSNSで紹介しております。下記QRコードからご覧ください！！



facebook



Instagram

障害社通信について、みなさまのご意見をお聞かせください！！



株式会社障害社

〒193-0013

東京都町田市原町田4-18-6 マーブルパレス101

TEL：042-850-9141／FAX：042-850-9142

MAIL：info@shogaisha.co.jp

障害社HPは
こちらの
QRコードから

